

# 平成24年度小松島市事務事業評価シート

## ■事業の位置づけ（基本事項）

整理番号 7 - 2 - 36

事務事業名	市総合グラウンド運営事業				担当課係	生涯学習課 スポーツ振興室	
総合計画上の位置付け	大項目	5. 「日（いとなみ）が輝く」			記入担当者		
	中項目	①伝統・文化の継承・発展とスポーツの振興			内線等		
	小項目	3. 生涯スポーツの推進			E-mail		
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				事業区分	経常事業	
事業予算費目	款	10	教育費	項	7	保健体育費	
	目	3	体育施設費	事業	1	市総合グラウンド管理費	
開始年度	昭和 28	年度	根拠法令・要綱等 小松島市総合グラウンド使用条例				

## ■事務事業の概要（実施内容）

事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 市民						
事業の目的（意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 小松島市総合グラウンドの安全で円滑な運営に寄与する。						
事業の内容（内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） 市総合グラウンド管理の委託，地権者に対する借地料を支払う。						
事業の背景（経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 昭和28年度より市民の体位向上と健康で文化的な生活の向上に寄与するため，小松島市総合グラウンドを設置し，野球場，及びテニスコートを運営する。						

## ■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名			指標の説明				指標化できない成果 施設の設備や広さなどに対する利用者の満足度
	単位	施設利用件数		施設利用件数		将来目標 (年度：平成)		
		H23	H24	H25	H26			
件	目標	736	604	509	509			
	実績	604	509					
	達成度	82.0%	84.3%					

  

活動実績・参考となる指標	指標名	単位		H23	H24	H25	H26	指標の説明
	市総合グラウンド野球場利用件数	件	計画		252	222	219	
実績				222	219			
市総合グラウンドテニスコート利用件数	件	計画		484	382	290		
		実績		382	290			
		計画						
		実績						
		計画						
		実績						

## ■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		23年度決算	24年度決算	25年度決算	24年度予算		
全体コスト（円）	関連事業費	A 直接事業費	39,379,407	38,615,063	0	39,556,000	
		財源内訳	国県支出金				
			地方債				
			利用者負担	759,040	464,750		
			一般財源	38,620,367	38,150,313		
	B	人件費 ①×②	848,200	815,800	0		
		職員平均人件費①	8,482,000	8,158,000			
		従事した割合②/人	0.10	0.10			
		A + B	40,227,607	39,430,863	0		
	単位コスト	活動指標の説明	施設利用件数 604件	施設利用件数 509件			
	活動指標 1 単位当たりコスト	66,602	77,467		備考 平成23年4月1日現在 人口41,204人 平成24年4月1日現在 人口40,876人		
	市民一人あたりのコスト	976	965				

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 市総合グラウンドについては、「小松島市総合グラウンド防災公園整備検討委員会」を立ち上げ準備会議を実施、新たな防災拠点とし、防災機能を有する公園とするための検討・審議を踏まえ、これまでの県との協議結果により、県が事業主体となって事業を推進することはないことから、市が主体となって総合グラウンドを防災機能を有する広場として整備を進めることとなった。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 現在も多くの市民に利用が図られている。特にテニスコートに関して市の施設としては唯一の施設であり、存続が望まれている。しかし老朽化や潮風などのより施設の傷みが深刻化している。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	総合体育施設として市民や近隣市町村から多くの施設利用が図られている。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	小松島市総合グラウンドで小松島市体育協会に管理を委託し運営している。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	スポーツ施設に専門知識を持つ小松島市体育協会に管理を委託しており、施設設備の運営維持に効果がある。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	施設や設備に必要な器具などの老朽化が進んでいる。利用者の安全で快適な使用を考え、改善が必要である。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	市民の体位向上、スポーツを通じて心身の健全な育成が図られている。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	ナイター施設の老朽化のため、夜の使用ができなくなっており、大幅な改修費用が見込まれる。総合グラウンドの管理整備用の機器も古くなってきており、このままでは利用者の安全な使用が困難になるため、買い換えの必要が出てきている。総合グラウンドは早い時期に地権者説明会を行って防災公園整備にあたり、事前事業として総合グラウンド用地の境界を確定させるための測量を行う。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	2	1 拡 充 す る	80 点 以上	評価点による判定 評価点 65 2	判定に至った理由 市総合グラウンドは昭和28年開設以来、半世紀以上にわたり、本市のスポーツの拠点、憩いの場として、市民の健康づくりをはじめとする様々な方面で今日まで役割を果たしている。一方で施設が老朽化しており現在はナイター照明機器を一部撤去している。借地問題については「小松島市総合グラウンド防災公園整備検討委員会」を立ち上げ準備会議を実施、市が主体となって総合グラウンドを防災機能を有する広場として整備を進めることとなった。
		2 現状のまま継続する	60～79点		
		3 改善・効率化し継続	50～59点		
		4 見直しの上縮小する	40～49点		
		5 終期設定し終了	30～39点		
		6 休 止	20～29点		
		7 廃 止	19点以下		

■改善・効率化・見直しの方向性 ※一次評価の判定が3・4の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容 (方向性・対象・手段等について記述)】
----------------------------------

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	3	1 拡 充 す る	判定説明 市総合グラウンドについては、「小松島市総合グラウンド防災公園整備検討委員会」を立ち上げ準備会議を実施、新たな防災拠点とし、防災機能を有する公園とするための検討・審議を踏まえ、これまでの県との協議結果により、県が事業主体となって事業を推進することはないことから、市が主体となって総合グラウンドを防災機能を有する広場として整備を進めることとなり、地権者の方にも協力を求めていく。
		2 現状のまま継続する	
		3 改善・効率化し継続	
		4 見直しの上縮小する	
		5 終期設定し終了	
		6 休 止	
		7 廃 止	